5 演習問題

5.1 集合記法

(1) N, R はそれぞれ自然数全体の集合、実数全体の集合とする.

$$A = \{1, 2, 3, 4, 5\}, B = \{x | 0 < x < 6, x \in \mathbb{N}\}$$

$$C = \{x | 1 \le x \le 6, x \in \mathbb{R}\}$$

のとき、以下の に当てはまる記号を書け.

(a) A B

(b) A C

(c) 3 A

(d) 1.3 B

(e) $C \sqrt{2}$

(2) 以下の集合を, 別の記法で書き表せ. ただし, Z は整数全体の 集合とする.

(a) $A = \{1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10\}$

(b) $B = \{x | -3 < x < 5, x \in \mathbb{Z}\}$

(c) $C = \{2, 4, 6, 8, 10\}$

(d) $D = \{x | x$ は 24 の正の約数 $\}$

(3) 以下の集合の部分集合を全て求めよ.

(a) $A = \{a, b\}$

(b) $B = \{a, b, c\}$

(c) $C = \{1, 2, 3, 4\}$ \emptyset , $\{1\}$, $\{2\}$, $\{3\}$, $\{4\}$, $\{1, 2\}$, $\{1, 3\}$, $\{1, 4\}$, $\{2, 3\}$, $\{2, 4\}$, $\{3, 4\}$, $\{1, 2, 3\}$, $\{1, 2, 4\}$, $\{1, 3, 4\}$, $\{2, 3, 4\}$, $\{1, 2, 3\}$, $\{1, 2, 4\}$, $\{1, 3, 4\}$, $\{2, 3, 4\}$,

5.2 共通部分·和集合·補集合

 $U = \{x | 1 \le x \le 15, x \in \mathbb{N}\}$ を全体集合とし、その部分集合を

$$A = \{x | x$$
は奇数 $\}$

$$B = \{x | x$$
 は 3 の倍数 $\}$

$$C = \{x | x$$
は 5 の倍数 $\}$

とする. 以下の部分集合を求めよ.

(1) $A \cap B$

(2) $A \cup B$

(3) $C \cap B$

(4) \overline{A}

$$\widehat{A} = \{2, 4, 6, 2, 10, 12, 14\}.$$

(5) $\overline{\overline{B}}$

$$\overline{B} = B$$
 , = $53.6.9.12.153$.

(6) $\overline{A} \cap C$

$$\overline{A} = \{2,4,6,2,\omega,(2,(4))\}$$
 $\overline{B} = \{1,2,4,5,7,2,(0,(1,13,14))\}$

(7) $\overline{A} \cup \overline{B}$

(8) $\overline{A} \cap \overline{B}$

(9) $\overline{A \cap C}$

(11) $A \cap B \cap C$

(12) $\overline{\overline{A} \cup (B \cap C)}$

Bac = 15.

$$A = \begin{cases} 2.4, 6.2, 10, 12.14 \end{cases}$$
.
2. $A \cup (Bac) = \begin{cases} 2.4, 6.2, 10, 12.14.15 \end{cases}$
2. $A \cup (Bac) = \begin{cases} 1.3, 5.7.9, 11.13 \end{cases}$.

5.3 命題

以下の文が命題であるか否かを判断せよ. また, 命題である場合は真偽を判定し, 偽の場合はその理由を説明せよ.

(1) 福井県は石川県よりも面積が広い.



(2) 日本の人口は多い.

(3) 4 は素数である.

(4) 100 は大きい数である.

(5) x ∈ ℝ(実数全体の集合) とする.

$$x < 10 \Longrightarrow x < 2$$

為

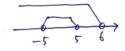
(6) $x \in \mathbb{R}(実数全体の集合) とする.$

$$x \ge 10 \Longrightarrow x \ge 2$$



(7) x ∈ ℝ(実数全体の集合)とする.

$$|x| < 5 \Longrightarrow x < 6$$



(8) $x \in \mathbb{Z}(整数全体の集合) とする.$

$$x$$
 が偶数 $\Longrightarrow x^2$ が奇数

(3)

(9) $x \in \mathbb{Z}(整数全体の集合) とする.$

$$x$$
 が 3 の倍数 $\Longrightarrow x^2$ が奇数

為

(10) x ∈ ℝ(実数全体の集合) とする.

$$x^2$$
が 3 の倍数 $\Longrightarrow x$ が奇数

(B)

万体.

5.4 必要条件・十分条件

に当てはまるものを以下から選べ.

- 必要条件であるが十分条件ではない
- (b) 十分条件であるが必要条件ではない
- (c) 必要条件でも十分条件でもない
- (d) 必要十分条件である
- (1)「x が整数」であることは「x が自然数」であるための

⇒ 偽

(2) 「x が 6 の倍数」であることは「x が 3 の倍数」であるための

→真田



(3) $x \in \mathbb{R}(実数全体の集合) とする.$

 $\lceil x < 10$ 」であることは $\lceil |x| < 10$ 」であるための



←真 囟



(4) $x \in \mathbb{N}$ (自然数全体の集合) とする.

 $\lceil x < 10
floor$ であることは $\lceil |x| < 10
floor$ であるための

x=1,2,3,4,5,6, 7,2,9

5.5 同値

x,y,z は実数とする. 以下の中で, x=y と同値な条件を全て

(a)
$$x+z=y+z$$

(b)
$$3x = 3y$$

(c)
$$xz = yz$$

(d)
$$x^2 = y^2$$

(e)
$$x-y=0$$

(a)
$$x + z = y + z$$

(b) $3x = 3y$
(c) $xz = yz$
(d) $x^2 = y^2$
(e) $x - y = 0$
(f) $(x - y)^2 = 0$

a. h. e. +

(C) 12 2017

「ひろ = みを」 ⇒ 「かこみ」 は(学)

西山、 3=0, 2=1,7=2.

(d/ 12742.

「x=y+ = 「x=y」は傷.

72/3' x=1. 7=-1.

5.6 否定

以下の条件を否定した条件をかけ、ただし、 $x \in \mathbb{R}, n, y \in \mathbb{N}$ と

(1) n は3の倍数である.

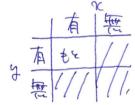
(2) n は 3 の倍数かつ偶数である.

いは 3の信動でかい おれ 尽動

	30/10	24/200
偶	€&	1/1
东	1///	///

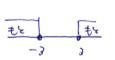
(3) x,y はともに有理数である.

のに、よないなくとも一部を理教



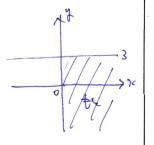
(4) x > 0

 $(5) |x| \ge 3$



(6) x > 0 かつ $y \le 3$

9C SO \$7212 4>3



5.7 逆・裏・対偶

 $x \in \mathbb{R}($ 実数全体)とする.

以下の命題の逆・裏・対偶を述べ、それらの真偽を求めよ.

(1) $x > 0 \Longrightarrow x > 5$ (x > 0) x > 0

(2)
$$x < 4 \Longrightarrow x^2 < 4$$
 $\sqrt{\frac{4}{2}}$ (3) (2) (2)

$$(3) \underbrace{x^2 - x - 6 < 0}_{(\gamma - \gamma)(\gamma + \bot) \le 0} = |x| \le 4$$

$$\frac{1}{2} |x| \le 4 \Rightarrow x^2 - x - 6 < 0 \text{ (A)}$$

$$\frac{1}{2} |x| \le 4 \Rightarrow x^2 - x - 6 < 0 \text{ (A)}$$

$$\frac{1}{2} |x| \le 4 \Rightarrow |x| > 4 \text{ (A)}$$

$$\frac{1}{2} |x| \le 4 \Rightarrow |x| > 4 \text{ (A)}$$